



申
40
号



内房線 上総湊・竹岡間において発生した 協力会社社員の感電死亡事故に関する緊急申し入れ

6/19 提出

申し入れ項目

1. JR東日本会社として尊い命を奪ってしまった現実に対する経営責任を明確にすること。また、施工会社・メーカーに責任転換することなく、JR東日本グループの安全文化の再構築ならびに現場第一の企業風土を創造すること。
2. 内房線 上総湊・竹岡間において発生した感電事象に対する経過・時系列を具体的に明らかにするとともに、真の原因究明を行うこと。
3. 東京圏設備指令システム及び新幹線変電所制御監視システムを除外する根拠を明確にするとともに、社員が納得できる対策を講じるまでは、き電停止、配電停止を伴う全ての作業を中止すること。
4. 電力指令員、関係者に聞き取りを行う際には、責任追及ではなく原因究明の観点から実施し、メンタルヘルスのケアを行うこと。

**原因究明が未了のままの作業再開により、
再び作業員・社員が犠牲となる事故を生み出しかねない!**

原因究明＋再発防止＝命を守る安全の確保

責任追求ではなく、多角的な原因究明と背後要因の特定を行い、二度と同様の事故を起こさないための対策を施すことが企業の責任だ

私たちは

一人ひとりが「すべての命の尊さ」と向き合い、
一人ひとりが「すべての命を絶対的に守る」、
健全な倫理観と企業風土を取り戻そう!

MAIL NEWS 2023.06.17 No. 266

命が奪われることは絶対にあってはならない

私たちがこれまで何度も、何度も会社へ指摘し続けてきたいつ、社員・作業員の“命”が奪われてもおかしくない状況で

協力会社作業員が感電事故の犠牲に

人命・人財を軽視し、金儲けに走る企業風土に歯止めを!

安全に安心して働くために、指導・教育・要員・体制の再確立を!

私たちは、命と尊厳の尊さに向き合い、健全な企業風土をつくり出そう!そして、すべての仲間と共に、安全文化をつくり上げていこう!

亡くなった作業員の方のご冥福をお祈りします。

※JR東日本の安全の根幹が揺らぎつつある

※JR東日本は、このように発生する事故を多く、繰り返している